



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

参考資料7

バイテック  
BI-Tech: 行動インサイトとAI/IoT等技術の  
融合によるwell-beingの向上

環境省

(日本版ナッジ・ユニット BEST 事務局)



**Behavioral Sciences Team**  
for a better choice

令和元年6月24日

# ナッジ等の行動インサイトを活用した行動変容の促進

- ナッジ (nudge: そっと後押しする) とは、行動科学の知見 (行動インサイト) の活用により、「人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法」
- **選択の自由**を残し、**費用対効果の高い**ことを特徴として、欧米をはじめ世界の200を超える組織が、環境・エネルギーを含むあらゆる政策領域に活用
- 我が国では2018年に未来投資戦略や骨太の方針等に環境省事業やナッジの活用を位置付け

省エネナッジの例: 省エネレポートで2%CO2削減  
(2018~2019年度実績。50万世帯で実証)

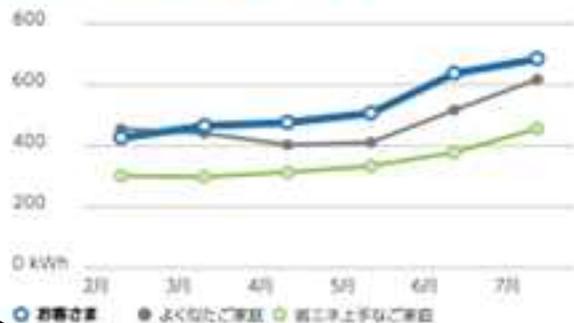
## 先月のご使用量比較



2013年6月20日 - 2013年7月21日

市内の最大100世帯のよく似たご家庭のデータを参考にしています。省エネ上手なご家庭とは、電灯使用量の少ない上位20%の世帯を指します。詳細は特設サイトをご覧ください。 <http://j.nudge.jp/her>

## これまでのご使用量との比較



😊 大変良い  
😊 良い  
😐 もう少し

38% 上がっています  
(省エネ上手なご家庭との比較)

過去6カ月のお客さまのご使用量は、よく似たご家庭を上回っています。  
**20,000円** の出費増です

## 他の世帯との比較

### 【同調性・社会規範】

所属する集団内での他のメンバーの実態と望ましい水準の理解に役立てる

## 損失を強調したメッセージ

### 【損失回避性】

「ものを得る喜びよりも失う痛みの方が強く感じる」という行動経済学の理論を応用

# AI/IoT等先進技術の活用を通じた効果的な行動変容の促進

- 効果的な行動変容には一人ひとりの属性情報や価値観に応じた働きかけが不可欠
- 行動インサイト(Behavioral Insights)と技術(Tech)の融合(BI-Tech: バイテック)により、IoTでビッグデータを収集し、AIで解析してパーソナライズしたフィードバックを実現
- G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合のイノベーションセッションでBI-Techを提案、各国より好評。成長戦略2019、AI戦略に位置付け。

BI-Techの例: GPSセンサで車両の加減速等を計測・評価するアプリを開発し、ドライバーの行動変容を促すエコドライブナッジを実証中

